

● 災害や防災についてもっと知りたい、学びたいときに ●

# 読んでみよう！ もしものときの防災ブックガイド —小中学生のための500冊

船木 伸江 監修

A5・220頁 定価2,970円(本体各 2,700円+税10%)

ISBN978-4-8169-3035-5 2024年12月刊行

## 調べ学習や防災教育を行う際の選書に役立つ

- 2011年以降に刊行された図書を中心に、児童・生徒を対象とした災害や防災について子どもが学ぶ際に役立つ図書590冊の情報を収録したブックガイドです。
- 主に災害・防災に関連する絵本を含む児童書を収録。各図書には基本的な書誌事項のほか内容情報を付与。一部図書には書影を掲載しビジュアルに配慮した、わかりやすくまとめた内容になっています。
- 巻末に「書名索引」付き。



### 収録項目例

- ◆自然災害について
  - ◇地震・津波のしくみ
    - ・もしも地震がきたら
  - ◇火山のしくみ
  - ◇水害のしくみ
  - ◇天気 of しくみ
  - ◇台風のしくみ
  - ◇災害の歴史
  - ◇災害からの復興
  - ◇報道・メディア
  - ◇報道写真集
  - ◇一般写真集
    - ・写真絵本
- ◆防災について
  - ◇防災事典・図鑑
  - ◇防災グッズ
  - ◇防災のためのまちづくり
  - ◇親子でまなぶ・考える防災
  - ◇サバイバル
    - ・応急処置・災害医療
    - ・サバイバル・クッキング
- ◆災害に関する読み物
  - ◇体験談・ドキュメント・読みもの
    - ・阪神・淡路大震災
    - ・東日本大震災
  - ◇絵本
    - ・阪神・淡路大震災
    - ・東日本大震災
    - ・マンガ
  - ◇ブックリスト

### 【監修者プロフィール】

船木 伸江 ふなき・のぶえ

神戸学院大学現代社会学部社会防災学科教授。北アリゾナ大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。京都大学大学院情報学研究所博士後期課程(単位取得退学)。阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターの震災資料専門員を経て、2006年に神戸学院大学へ着任。2021年4月より現職。総務省消防庁「防災まちづくり大賞」選定委員会選定委員、防災教育チャレンジプラン実行委員会委員、兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会学校防災アドバイザーを務める。

### ■シリーズ既刊

読んでみよう! 教科書に出てくる名作500冊

1~3年生 / 4~6年生

栗原 浩美 監修 A5・各 240頁 定価各 2,970円(本体各 2,700円+税10%)

ISBN978-4-8169-2991-5 / ISBN978-4-8169-2992-2 2024年1月刊行

\*「内容見本」は裏面をご覧ください。

202411

お問い合わせは… **日外アソシエーツ 営業局**

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

注文書	読んでみよう！ もしものときの防災ブックガイド —小中学生のための500冊  定価2,970円(本体2,700円+税10%) ISBN978-4-8169-3035-5	冊	取扱書店
-----	---	---	------



9784816930355

# 読んでみよう!もしものときの防災ブックガイド—小中学生のための500冊 内容見本

『「もしも」にそなえて「今」できること命をつなぐ防災〔1〕(そのときどうする?もしも災害が起こったら)』

船木伸江監修



**目次** 命はどうやって守るの?, 東日本大震災の体験談, 平成30年7月豪雨の体験談, そのほかの災害が発生!1 雷から身を守るために, そのほかの災害が発生!2 竜巻から身を守るために, そのほかの災害が発生!3 土雷から身を守るために, そのほかの災害

**内容** 地震や台風りません。今こ判断や行動がでい止めることは

ます。この本では被災者の体験談をる被災者の経験は、未来の自分の身で災害をイメージすることは、「『も歩になります。大切な命をつなぐらからはじめましょう。

偕成社 202

## ◇東日本大震災

『あさになったのでまどをあけますよ』

荒井良二著

**内容** 新しい1日をむかえるために窓をあける子どもたち。なにげない日々の繰り返し、その中にこそある生きることの喜びを描いた絵本。

偕成社 2011.12 1冊 (ページ付なし) 30cm 1300円 ㊟726.6 ㊠978-4-03-232380-1

『あのひのこと』

葉祥明絵・文



**内容** ある少年が体験した「あのひのこと」(東日本大震災)を軸に、家族の絆に支えられ、希望の光を見いだすまでを繊細なタッチで描きます。

佼成出版社 2012.3 1冊 (ページ付なし) 23×25cm 1400円 ㊟726.6 ㊠978-4-333-02530-5

## ▽ 書名索引

### 【か】

かあさんのこもりうた	50
かがやけ!虹の架け橋—3. 1 1大津波で3人の子どもを失った夫妻の物語	120
火山とくらす	6
火山のクライシス	7
火山のしくみ	6
火山のふしぎ 富士山は本当に爆発するのか!?	8
火山はめざめる	9
火山ビジュアルガイド 3	10
火山噴火—何が起る?どう、そなえる?	11
火山列島・日本で生きぬくための30章—歴史・噴火・減災	15
火山の国に生きる—生きていく火山	16
かぜのでんわ	36
川の科学ずかん 3 (川の楽しさと防災)	38

日本に住む私たちには、災害を知り、被害を少しでも軽減するための学びは必要不可欠なものになっています。では、災害に備えてどんなことをしておけばいいのでしょうか ~中略~ 地震や津波、台風などの災害の起り方を知り、被害を出さない方法や最小限に食い止める方法を学んだり考えたりします。そして自分の弱点(まだ十分に対策できていない部分)を見つけ、強化する(=備える)ことも必要です ~中略~ 本書では、主に、東日本大震災が発生した2011年以降刊行された災害・防災に関する図書500冊が収録されています。特に、児童・生徒が自分で災害や防災・減災について学ぶことができる図書が選定されている点が特徴です。防災はどうしても難しいと思われがちですが、わかりやすく説明されている図書を見ることで、教師や保護者も子どもたちとともに学ぶことができます ~中略~ 被災された方は、必ず、「まさか自分が被害にあうとは思わなかった」「○○をしておけばよかった」という後悔の言葉を言われます。災害が起こった時に、知っておいてよかった、やっておいてよかった、と思う知識が防災の図書の中にはたくさんあります。防災教育は、かけがえのない「命」を守る教育です。多くの防災の知識を子どもたちに届けるために本書を活用していただければ幸いです。(「まえがき」より)